

ほっとまむ+動物病院

飼っているペットが食べてはいけないものを食べてしまった時、多くの方はどうしたらよいかわからず、慌ててしまうと思います。おもちゃなどの消化できないものが胃から流れて腸で詰まってしまうと命を落とすキケンがあります。今回はペットが誤食してしまった時の対応などについてまとめました。

こんなとき どうすればいい？

Q. (おもちゃなど) 身の回りで見つからないものがあるけれどペットが誤食したかわかりません。

どうしたらいいですか？

A. まずは落ち着いて家の中をよく探しましょう。(家具のすき間・カーペットの裏など) くまなく探しても見つからず、ペットが誤食した可能性が高い場合には動物病院に相談しましょう。

Q. 誤食した直後、吐かせるために水などを大量に飲ませたほうがいいですか？

A. × 水を飲ませることで胃の内容物が胃から腸へと流れてしまう可能性がありキケンです。誤食後は水・ごはんを与えずに動物病院を受診しましょう。

誤食した時の対応

- ・ パニックにならず、冷静に
- ・ 「なに」を「いつ」、「どれくらいの量」を食べたか把握する
- ・ 動物病院に連絡して、上記のことを伝えてから受診する

※食べたものがあれば動物病院に持参する

(例) 同じ型のおもちゃ
人間の飲み薬の箱など



誤食物ランキング

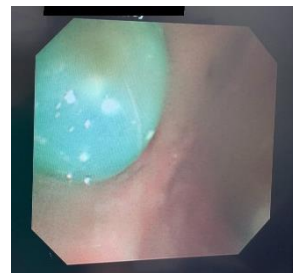
イヌ

- ① おもちゃ
ボール/おもちゃの一部など
- ② 衣類
靴下/マスクなど
- ③ 消化できない食べ物
大きすぎるガム/
とうもろこしの芯など

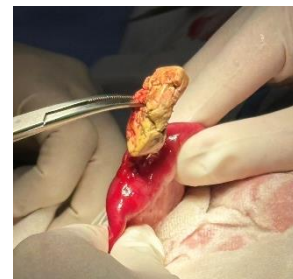


ネコ

- ① スポンジ素材
ジョイントマットなど
- ② ボタン状異物
ゲーム機のスティック
カバー/シリコン状の
フタなど
- ③ ヒモ



→スーパーボールを誤飲した犬の胃の内視鏡画像
内視鏡にて摘出



→ジョイントマットを誤食した猫
外科手術にて腸を切開して摘出

誤食の多くは生活環境・人の不注意にて起き、改善することで予防が可能です。ゴミ箱をフタ付きのものに変える。おもちゃを出したままにせず片づける。日頃から「ちょうだい」を練習して、食べてはいけないものを啜っていた時に放すことができるようする。大事なペットが誤食して苦しい思いをしないようにおうちの環境の見直し、ご家族と話し合いをしてみてください。